

会員数	94,343	(前月比) +	20
手配り	26,996	(前月比) -	90
郵送	9,453	(前月比) +	41
会員世帯数	41,353	(8/31現在) [前月比 17増]	
協同基金到達額	2,311,781,000円	(8/31現在) [前月比 1,125,000減]	
協同基金出資者数	23,316名	(8/31現在)	

# 共同組織拡大強化月間スタート!

## 友の会の輪をひろげる多世代交流の取り組み



みみっばに展示中 ● 世代をつなぐプラレール

## ブロック・支部・班づくり



中区ブロック ● 登山サークル 大台ヶ原へ!



ふくいずみ支部 ● ポッチャ 3チームで白熱の対決!

## 地域まるごと健康づくり



泉ヶ丘西支部 ● からこ班 整形外科小松Dr.のお悩み相談会!



安井支部 ● フレイル予防体操 スクエアステップでハイタッチ!

## ふれあい支えあいのまちづくり



東西支部 ● 健康チェック 会員さん同士で測定!



鳳支部 ● 寺子屋ちぐさ 平和学習会

## 全ての取り組みを『仲間ふやし』『多世代交流』『地域医療をまもる』につなげよう!

「2025年度共同組織拡大強化月間」(9月27日～12月4日)では、友の会会員とみみはらグループ全職員の力を合わせ、以下を重点課題として取り組みます。

- ①「新しい仲間」と「担い手」をふやし、「安心して住み続けられる、ふれあい支えあいのまちづくり」をすすめます。
- ②「地域医療をまもる緊急行動・国民署名」を全ての取り組みに位置付けます。
- ③「友の会」の枠を超え、職員・専門スタッフの力を借りて、「健康と暮らし」に関する学習をすすめます。
- ④みみはらグループの事業所と友の会の取り組みを地域に「知らせ」(「見える化」し)、地域を「知る」取り組みを行って、地域の期待に応えられる組織づくりをすすめます。
- ⑤友の会の総力を上げて「みみはら2030年の樹」の具体化に向けた取り組みをすすめます。

## 聴診器

9月なのに暑い。外にいれば虫や鳥や植物たちに「暑いやろ、あんたら辛いなあ」と呟く毎日だ。気象庁は9月1日、今年夏(6～8月)の平均気温が1898年統計開始後、3年連続で最高だったと発表した。40度超え観測地点は延べ30箇所以上のぼり明らかな異常気象だと。東南アジア近海の海面水温が高い影響で日本上空はチベット高気圧、太平洋高気圧に覆われ続けた結果、各地で異常高温が観測された。地球温暖化で気温が底上げされており今後も平均気温は上昇すると予想されている。▼20年前「不都合な真実」という映画を家族で観た。人間活動による環境破壊が近い将来、深刻な気候危機を招くと警告した内容で背筋が凍る想いをした。予告は現実化しており、プラネタリーヘルス(PLH)を拓めるのが今後の自分の課題と思う。▼PHとは地球の健康と人類(生物)の健康が切り離せないものであり、地球環境の変化が人類、地球上の生物の生活や健康に直接影響を与えていることを知り、地球環境の持続可能性を目指しながら人類・生物が生き残る道を探ろうとする考え方だ。▼足るを知るを考える、そして最大の破壊行為である戦争を止める行動に微力であっても声はあげないと。黙っているのは加担者と同じだから。(緒方浩美)